

令和5年度児童心理司キャリアアップ研修(中堅以上)開催要項

1 目的

児童心理司が児童虐待防止対策に関わる上で必要とされる基礎的知識や技法、求められる役割等を習得することを目的に開催します。

本研修では、DVの理解と親と子どもへの支援方法について学びます。

2 実施主体

山口県

3 実施機関

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

4 受講対象者

中堅以上の児童相談所の児童心理司、市町担当職員(児童虐待防止対策に関わる部署)

※児童心理司については、経験年数が概ね3年以上の職員が主な対象ですが、その他の児童心理司や児童福祉司の参加も可とします。(市町職員についてもこれに準じます。)

5 定員

20人

6 日程、内容、演題及び講師

開催日	時間	演題・講師	
12月15日(金)	9:30～9:50	受付	
	9:50～10:00	開会	開講・オリエンテーション
	10:00～16:00	講義 ・ 演習	「DVの理解と親と子どもへの支援」 講師：日本福祉大学社会福祉学部 准教授 増井 ^{ますい} 香 ^{かなこ} 名子氏
	16:00～16:10	閉会	閉講・アンケート記入

(昼食休憩は12:00～13:00を予定)

7 会場 山口県セミナーパーク 一般研修棟 研修室202

8 受講料

無料

9 申込手続

(1) 申込方法

「山口県社会福祉協議会福祉研修センター」のホームページ (<https://yg-fkc.com/>) からマイページにログインし、該当研修の申込フォームからお申し込みください。

※ 事前に所属単位での「事業者登録」が必要です。(既に登録済みの場合は不要)

(2) 申込受付期間

令和5年11月10日(金) ～ 12月1日(金)

(3) 受講決定

受付期間終了後に(1)で登録されたアドレスにメールでお知らせします。

定員超過等でやむを得ずお断りする場合もメールでお知らせします。

なお、申し込み状況はマイページ内の「研修申込状況」で確認できます。

10 食事

昼食は各自で準備するか、併設の食堂を利用してください。

11 個人情報の取扱い

申込フォームに記載された個人情報は、研修会の運営管理のみに使用します。

12 その他

(1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までにHP (https://yg-fkc.com) に記載しますので、前日に必ずホームページを確認してください。

(2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。

(3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。

(4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。

(5) 研修当日は、各自でマスクを持参してください。

13 申込・問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部(福祉研修センター)

担当：山下

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)

T E L : 083-987-0123 F A X : 083-987-0124



14 アクセス

<山口県セミナーパーク>

所在地：〒754-0893 山口市秋穂二島1062



<講師プロフィール>

○日本福祉大学社会福祉学部准教授、大阪公立大学現代システム科学研究科客員研究員
博士（社会福祉学）社会福祉士・精神保健福祉士、公認心理師

○地方公共団体の社会福祉職として女性福祉・児童福祉・障がい福祉分野等で長年勤務。仕事の傍ら、大阪府立大学大学院にてDV被害者支援について研究。2017年博士（社会福祉学）取得。

○内閣府、子どもの虹情報研修センター（児童相談所長研修・指導教育担当児童福祉司任用前研修）、地方公共団体等研修講師多数。複数の配偶者暴力相談支援センターや母子生活支援施設にて事例検討スーパーバイザー。DVと児童虐待の交差ケースの実践モデルであるSafe&Togetherモデルの日本への導入に取り組む。

○著書『DV被害からの離脱・回復を支援するー被害者の「語り」にみる経験プロセスー』ミネルヴァ書房（2019年）、2020年度日本ソーシャルワーク学会研究奨励賞受賞。

○その他近年の論文等

増井香名子：「母子生活支援施設における職員研修の実践とその効果ー暴力被害等を経験した子どもと母への支援力向上に向けて」。社会問題研究，（69），21-30，2020.

増井香名子：「DV被害者の心理と経験過程ー共通性と支援の視点」こころの科学（219），36-41，2021.

増井香名子，岡本正子：「DV被害者である親への支援の重要性および親と子どもに対する支援の視点ー支配のメカニズムの理解とストレングス視点からー」。育療，（66），39-46，2020.

増井香名子・岩本華子：「DV被害者である親が経験する子育ての実態～当事者インタビューの分析から児童福祉実践への示唆～」社会福祉学，62(4)，72-85，2022

